



学校だより

横浜市立六つ川台小学校

6月号

平成29年5月31日

ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawadai/>

笑顔あふれた 運動会

副校長 佐藤 栄

5月27日(土)午前6時前に正門には開門を待つ保護者の方が、並んでいらっしゃいました。

「何時からお並びですか。」と尋ねると先頭の方が、

「5時からです。」とこやかに答えてくださいました。開門の3時間前から場所の確保とは、保護者の皆さんの並々ならぬ思いを感じました。前日には「4時から起きてお弁当を作ります。」という保護者の方の話も伺いました。早朝からのお仕度とたくさんのご来賓、保護者や地域の皆様にご来校頂き厚く御礼申し上げます。運動会は、学校にとりましても一年間で入場者数が最も多い行事です。

「力をあわせて 笑顔あふれる 台小運動会」のスローガンのもと開催されました。

5月に入り本格的に運動会の取り組みがスタートしました。低・中・高学年ごとに、表現や団体種目、また応援合戦などの活動に取り組んできました。子どもたちは、短い練習時間の中、集中して練習に取り組み表現や団体競技を仕上げていきました。

運動会は、子どもたちにとって自分の力を表現できる様々な場面が用意されている体験の場です。多くの友達と力をあわせて表現活動に取り組みました。また、みんなの力をあわせ一点に集中させ発揮した団体競技がありました。自分の力を出し尽くす徒競走もありました。それぞれの演技には見せ場がありました。本番では一味違う力を子どもたちは発揮しました。高学年リレーでのアンカー走者の抜きつ抜かれつの白熱したレースにゴールまで全員の注目を一点に集める展開となりました。

練習期間後半には、団体種目の完成に焦る職員に対して、校長から「見栄えの美しさよりも、子どもたちの一生懸命に参加する姿を見てもらいましょう。」と子どもたちの精神面の指導を忘れないように声掛けがありました。

当日、子どもたちは期待どおりに、もてる力を思い切り出し尽くす競技・演技を行いました。力をあわせ最後まで諦めずに表現している姿に大きな拍手を送っていただきました。これに答えて子どもたちの笑顔が会場内にあふれていました。

運動会は、子どもたちが自分の目標をもち、全力で練習に取り組み、これらを通して一人ひとりが運動会を作り上げていくという意識をもつことをねらいの一つとしています。個人の力を発揮し、集団の中でのルールの大切さを確かめ、学年・学級の友達と協力することの大切さを知るよい機会となりました。

閉会式での校長の話の中で「負けた白組は悔しいですね。一生懸命がんばったから悔しいんです。悔しいという気持ちも大事です。ともにごんばったことを称え互いに大きな拍手を送りましょう。」という言葉に会場一同大きな拍手が起きました。

高学年児童は支える役割もあり準備、片づけ、審判補助、得点版補助とたくさんの運動会運営の役割を頑張りました。運動会という行事を通して、子どもたちが大きく成長したことを実感しています。

最後に、ご来校いただいた皆様の温かいご声援と大きな拍手と片づけのお手伝いもいただきありがとうございました。